



# とうえい

令和6年5月23日

東栄小学校

学校だより第2号

## ズキューン！と心を打たれる



先日、校区に住むおばあさまから、次のようなお電話をいただきました。「東栄小学校の子どもたちとすれちがうときに、とても気持ちのよいあいさつをしてくれるので、すごくうれしかったです。ありがとうございます。」とのことでした。東栄っ子の明るく元気な「あいさつ」が、おばあさまの心に「ありがとうの花」を咲かせました。東栄っ子の「あいさつ」には、「ありがとうの花」を咲かせる力があります。

これをうけて、やっぱり「ありがとうプロジェクト」には「あいさつ」は欠かせないと改めて思いました。ありがとうプロジェクトとは、東栄小学校を中心に「ありがとうの花」を咲かせ、東栄小学校区に「ありがとうの花畑」を広げようというものです。

ありがとうプロジェクトでは、この「あいさつ」をまず大切に育てていきます。そこでポイントになるのが、あいさつをするときに目と目を合わせるのだと思っています。朝、あいさつをしても、明るく元気な「おはようございます」を目を見て笑顔で言われるとズキューン！と心を打たれて、うれしさがこみ上げてきます。きっと子どもたちも同じような気持ちになるのではないのでしょうか。そして、互いにうれしい気持ちにしてくれて「ありがとう」と「ありがとうの花」が咲きます。

そして東栄小学校には、この「あいさつ」を盛り上げてくれる強い味方がいます。それは、高学年を中心としたあいさつボランティアの子どもたちです。毎朝、北門や西門、花壇の前で登校してくる子どもたちを出迎え、目と目を合わせる「あいさつ」を繰り返して、「ありがとうの花」を咲かせてくれています。そして、多くのあいさつボランティアたちは、終わると交通指導員さんやスクールガードさんや私にも「ありがとうございました」と言ってさわやかに去っていきます。これは、きっと登校してくるたくさんの東栄っ子たちと「あいさつ」を交わして、心の中が「ありがとうの花」でいっぱいになり、感謝の気持ちがあふれているからではないのでしょうか。

こうして、ありがとうプロジェクト第1弾である「あいさつ」を盛り上げていきたいと思っています。どうぞ保護者や地域の皆様も「あいさつ」を通して子どもたちと一緒に「ありがとうの花」を咲かせていただけるとありがたいです。

(校長 中島学路)

